



Kadai Admission Center News

〈香川大学アドミッション通信〉

Vol.
59
2026

香大アドミッション通信 第59号(2026年9月号)

香大アドミッション通信では、香川大学の入試や進学相談会・説明会等の最新情報を高校生や受験生のみなさんに配信します。香川大学についてのすべての入試情報の網羅はしていませんので、香川大学入試情報サイトと合わせてご確認ください。

香川大学入試情報サイト ▶▶▶ <https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/>



社会構想デザイン学環(仮称)※2028年4月開設予定(高2生～)

社会構想デザイン学環(仮称)は、従来の「学部」の枠組みにとらわれず、複数の学問分野を横断的・実践的に学ぶための「新しい教育・研究組織」です。通常の学部・学科と同じように入学者選抜を経て進学でき、卒業時には他の学部と同様に「学士」の学位が授与されます。

本学環では「課題起点型教育」を中核に据え、「社会知(制度・経済)」「空間知(設計・資源)」「環境知(気候・生態)」という三分野の専門知を横断的に修得し、2年次以降で自らの専門的立脚点を確立しながら、学外のステークホルダー(自治体、企業等)と連携した社会実装を志向する実践的な教育研究を行います。

こんな人を求めています！

- ・地域の再生や環境問題への取り組みに強い関心を持っている人
- ・文系、理系の枠組みを越えて、課題起点で学びを深めたい人
- ・大学入学後、自分に合った専門的アプローチを見つけたい人
- ・小中高校で培った探究活動の経験をさらに発展、深化させたい人

＜育成する人材像＞

人・自然・社会・経済をつなぎ、社会の仕組みから改善策を設計・実装できる能力を育成

＜募集人員・入試方式＞ * 2027年春募集要項公表予定

- ・募集人員:20名
- ・「総合型選抜Ⅰ」と「一般選抜(前期日程)」の実施を検討中

詳細は下記のURLからご確認ください。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/34869/>



2027年度
募集要項公表予定！
(募集人員20名)

香川大学は2028年4月より
新たな学環(学部相当)を開設予定

**香川大学
社会構想デザイン学環(仮称)**

2028年4月開設予定

環境も地域も一緒に再生する100年構想
仕組みから変革する社会実装を育てる

香川大学

香川大学進学相談会・説明会情報

医学部医学科入試相談会を開催します！

【日 時】 2026年10月11日(日) 第1部 10時30分～12時30分

第2部 12時30分～14時30分

【場 所】 香川大学医学部キャンパス 講義棟1階 講義室101

担当教員が入試に関する相談をお受けします。

なお、予約等は不要です。詳細は下記のURLからご確認ください。

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/topics/student/47r8-10-1010-11/>



オープンキャンパス(動画配信)を公開中！

各学部・学科等の詳細や、香川大学生の日常を知ることができます。是非、一度ご覧ください。

【配信期間】2027年2月3日(水) 午後5時まで

○香川大学紹介ムービーは[こちら](#)

○医学部 動画配信

- ・医学科は[こちら](#)
- ・看護学科は[こちら](#)
- ・臨床心理学科は[こちら](#)

○創造工学部 動画配信

[こちら](#)からご覧ください。

○農学部 受験生向け特設サイト

[こちら](#)からご覧ください。



アドミッション教員のつぶやき(21)

志望校への想い

香川大学農学部で発行している「総合型選抜 I ガイド2027」の中に、総合型選抜 I で合格し、入学した方々からのメッセージが掲載されています。今回は、その中から3人の方のメッセージ(一部抜粋)を紹介させていただきます。

◇総合 I ガイドは少なくとも100回は読みました。

◇香川大学の総合型選抜は他の受験生よりも早い時期にあるので、周りとの温度差や共通テスト勉強との並行でしんどくなることもあると思いますが、このつらい時期にどれだけ頑張れるかが合否に繋がると私は思っています。こんなこと、どこの受験HPにも書いてあると思いますが事実です。私は、8、9、10月は睡眠時間以外、もちろんお風呂もご飯の時間もずっとペンをもって調べものをしていました。どうしても香川大学に入学したかったからです。今これを読んでいる受験生のみなさんも私と同じような志を持った方だと思います。自分が知らないことはないと言い切れるまで勉強してください。いま得た知識は大学に入った後でも無駄になることは決してありませんから。

◇自分のやりたいこと、好きなことで勝負できるのでとてもいい入試方法だと思います。ですが、それは他の人も同じ条件なので、他の人よりたくさん知識を増やし、他の人の何倍も面接練習や授業理解力テストの対策をしないと受からないと思います。

皆さんは3人の方からのメッセージを読んで何か感想を持たれましたでしょうか。私からは、上記のメッセージから下記の2点についてお伝えさせていただきます。

1点目は、表題にもある「志望校への想い」の強さです。志望校に対する想いの強さは学習行動につながりやすく、行動すれば目標に近づける可能性が高まります。

2点目は、入試は資格試験とは異なり相対評価で合否が決まるということです。つまり、30人の定員であれば、30番以内にはいることが重要なのです。入試の合否ライン付近では1点以下の差で合否が分かれることがたびたび起こります。では、そのわずかな差をどう考えたらよいのでしょうか？例えば、当日の試験で直前に解いたものと類似した問題が出たなどの「運」の要素もあるでしょう。しかし、その「運」も、元をたどれば1点目に書いた「志望校への強い想い」から最後まで諦めないで準備し続けた結果という解釈もできるのではないのでしょうか。

合格の可能性を1%でも高めるためには最後の最後まで合格に向けてやるべきことをやり続ける。よく言われることですが、特に、演習の絶対量が不足している現役生は試験日当日まで成績が伸び続けます。皆さんの志望校への想いが志望校合格に近づくことを願っています。



香大アドミッション通信 第59号 2026年(令和8年)9月18日(金)

発行:香川大学アドミッションセンター センター長 竹内 正興

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/centers/25551/>

